

平成25年度

事業計画書

平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで

公益財団法人 立山カルデラ砂防博物館

1 基本方針

- (1) 平成25年度においても、「立山カルデラの自然と歴史」及び「砂防」の二つのテーマを、「知られざるもうひとつの立山」と位置付け、博物館活動を通して広く紹介する事業を積極的に展開する。
- (2) 「立山・黒部」世界文化遺産登録への県民意識の醸成に向けて、博物館の視点から、積極的な情報発信を行う。
- (3) 立山黒部アルペンルートの玄関口に立地することから、観光客からの要望が多い立山の風土を紹介する事業を平成24年度に引き続き行う。

2 展示事業

(1) 常設展示

立山カルデラ展示室、SABO展示室、砂防常設展示コーナー及び大型映像により、立山カルデラの自然と歴史及び砂防を体系的に展示・紹介する。団体客に対しては、学芸員等が来館目的に沿った解説を行う。

(2) 企画展、特別展

①特別展「立山へ行こう！ーより楽しむコツ、博物館が教えますー」

(4月16日～7月21日)

学芸員の視点から、立山黒部アルペンルート沿いの地形、火山、動植物等にとっておきの観察ポイントをパネル、模型、映像等で詳しく紹介
台湾からの来館者も多いことから、台湾語によるパネル説明、映像放映も行う。

②特別展「世界の氷河、立山の氷河」(仮)(4月20日～5月26日)

写真家・柳木昭信氏撮影の世界の氷河写真、立山の氷河写真を紹介

③土砂災害防止月間特別展「富士山、立山、そして日本の活火山」

(6月1日～7月21日)

火山系博物館ネットワークの巡回展として日本の代表的火山とそこで起きた災害を紹介

④土砂災害防止月間パネル展「常願寺川の砂防えん堤」(6月1日～7月21日)

常願寺川の代表的な砂防えん堤(白岩、泥谷、本宮等)をその歴史とともに紹介

⑤置県130年記念企画展「明治期の治水と高田雪太郎」(仮)

(7月27日～9月29日)

富山県の礎である明治期の治水について、近代富山の黎明期をリードした高田雪太郎の功績などを詳しく紹介

⑥特別展「立山カルデラの深層崩壊」(仮)(10月5日～12月1日)

立山カルデラの姿を作った深層崩壊についての研究成果を紹介

⑦写真展「素晴らしい自然を」(1月11日～2月11日)

日頃から自然に接している人々が感じた自然のすばらしさや大切さを紹介

⑧特別展「映像で見る立山と砂防」(2月15日～3月9日)

立山や立山カルデラの自然、歴史、砂防について、過去の貴重な映像から紹介

⑨公募写真展「レンズが見た立山カルデラ」(3月15日～4月13日)

立山と常願寺川一帯をフィールドとして、立山カルデラやその周辺をテーマに魅力ある作品を紹介

3 立山カルデラ砂防体験学習会

博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然や歴史、砂防事業について体験しながら理解を深めてもらう体験学習会を、国土交通省立山砂防事務所の協力を得て実施する。

今年度から、砂防の背景である常願寺川流域全体の特徴的な自然、過去に起きた災害や砂防工事の歴史等を組み合わせ、流域全体として世界文化遺産登録を理解してもらうコースを新設する。

(1)実施時期 7月～10月

(2)実施回数 48回

①トロッココース<個人>(原則水曜日実施) 16回

②トロッココース<団体>(原則木曜日実施) 16回

③㊦「世界文化遺産候補地等を巡るコース」(仮)(原則金曜日実施)

・立山カルデラ重点コース(多枝原コースを変更) 5回

・立山カルデラ及び常願寺川流域コース(白岩下流コースを変更) 5回

※立山カルデラ及び常願寺川流域コースは、雨天が予想される場合も、立山カルデラ内を除き、実施する。

④バスコース(原則金曜日実施) 6回

(3)解説員 富山県砂防ボランティア協会、立山砂防スペシャルエンジニア、博物館ボランティア解説員

4 「立山・黒部」世界文化遺産登録に向けた県民意識の醸成についての情報発信

(1)㊦常願寺川流域全体の世界的に見ても特色ある自然・歴史・砂防の事象について、博物館の視点から総合的に解説した冊子「常願寺川の自然と人」(仮)を作成する。

(2) 大型映像装置(103インチ)による映像「立山・黒部 世界遺産に向けて」をエントランスホールにおいて常時放映

- (3) 『立山・黒部』を誇りとし世界に発信する県民の会』との連携による講演会等の実施
- (4) 立山カルデラや砂防を解説した「立山カルデラたんけんブック」を小学生に配付
- (5) 白岩砂防堰堤を見学する立山カルデラ砂防体験学習会の開催
- (6) 「白岩砂防えん堤－世界文化遺産に向けて－」の常設展示

5 普及事業

(1) 学校行事における児童生徒の利用促進

飛越大地震やその影響による常願寺川流域における土砂災害を克服してきた先人達の努力・砂防事業等を、児童生徒に学んでもらうため、総合学習等による博物館への来館を積極的に勧誘する。

学芸員が来館のニーズに応じたきめの細かいガイダンスを行うとともに、学校関係者が来館するに際し必要な情報を入手しやすくするため、ホームページに学校関係者のページを設ける

(2) 解説ボランティアの配置

博物館の展示について、来館者により理解を深めてもらうため、繁忙期の土・日・祝日は、解説ボランティアが館内の展示等に対する説明を行う。

(3) フィールドウォッチング

- | | |
|-------------------|------------------|
| ①「春の立山 雪の大谷」 | 5月12日(日) |
| ②「春の材木坂と美女平」 | 6月30日(日) |
| ③「立山の氷河眺望」 | 8月25日(日) |
| ④「室堂山・浄土山とカルデラ展望」 | 9月8日(日) |
| ⑤「秋の弥陀ヶ原とカルデラ展望」 | 9月29日(日) |
| ⑥「秋の有峰と常願寺川砂防探訪」 | 10月20日(日) |
| ⑦「立山の雪を体験しよう」 | 1月26日(日)、2月1日(土) |

(4) 立山氷河の解説研修会

観光業者等が開催する氷河眺望ツアーにおいて、氷河について解説するガイドを養成する研修会を開催する。(7月下旬)

(5) 防災講演会

6月(土砂災害防止月間特別講演会)

(6) 移動博物館

①県民生涯学習カレッジ講座の開設

連携講座「もう一つの立山 立山カルデラ」を6回開催する。

②市民大学講座、地域公民館等との連携

市民大学や地域公民館等に学芸員が講師として出向き、「立山火山」、「地震と活断層」、「立山カルデラの動物」などの専門的な解説を実施する。

③立山砂防事務所との連携

立山砂防探検隊、砂防体験楽校 等の実施

④富山県砂防課との連携（土砂災害防止月間イベント）

砂防フェア2013

6月8日(土)

子ども砂防教室

6月上旬から下旬

⑤地元団体との連携

立山夏山開き「立山・称名滝の祭典」（立山町）、とやまスノーピアード立山山麓「雪の祭典」（富山市）、への参加

(7) サイエンスショーの開催 8月3日(土)～8月4日(日)

(8) 世界自然・野生生物映像祭 8月10日(土)～8月11日(日)

(9) 国際世界遺産セミナーへの協力

(10) 「博物館だより」等の発行

博物館だより(年3回)、イベントガイド(年1回)、ポスター(年1回)、イベントニュース(毎月)

(11) 博物館実習、教員研修、十四歳の挑戦事業 等の受入れ

6 調査研究・資料収集

(1) 立山連峰における氷河探究調査

氷河がいつ頃からどのように形成維持されてきたかを解明し、立山氷河の独自性を明らかにする。

(2) 立山カルデラの自然と歴史、砂防に関する調査研究

(3) // 資料収集

(4) // 図書収集

7 博物館友の会

(1) 会員参加行事の充実（立山カルデラ砂防体験学習会、類似施設見学会、等）

(2) 友の会だよりの発行

(3) ホームページの運用